

倉敷市水道事業経営審議会

第 1 回 資料

令和元年 8 月 28 日



倉敷市水道局

目 次

	頁
1 倉敷市水道事業の概要	
(1) 水道事業について	1
(2) 倉敷市水道事業について	2
2 倉敷市水道事業の財政状況	
(1) 水道財政の仕組みについて	7
(2) 平成31年度予定業務量について	8
(3) 平成31年度当初予算額	9
(4) 予算数値の概要	10
3 倉敷市水道事業の実施方針	
別紙「くらしき水道ビジョンー2019ー（概要版）」にて説明	

1 倉敷市水道事業の概要

(1) 水道事業について

ア 水道事業の役割

水道事業の基本的な役割は、水道施設を計画的に整備し、清浄な水を安定・安価で供給することにより、公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与することにあります。（水道法第1条）

イ 水道事業の経営主体

水道事業は、水道法において原則として市町村が経営することとされています。（水道法第6条）

ウ 地方公営企業

地方公共団体が、上水道や病院など、住民の福祉の増進を目的として設置し経営する企業のことを地方公営企業といいます。（地方公営企業法第2条）

エ 独立採算制

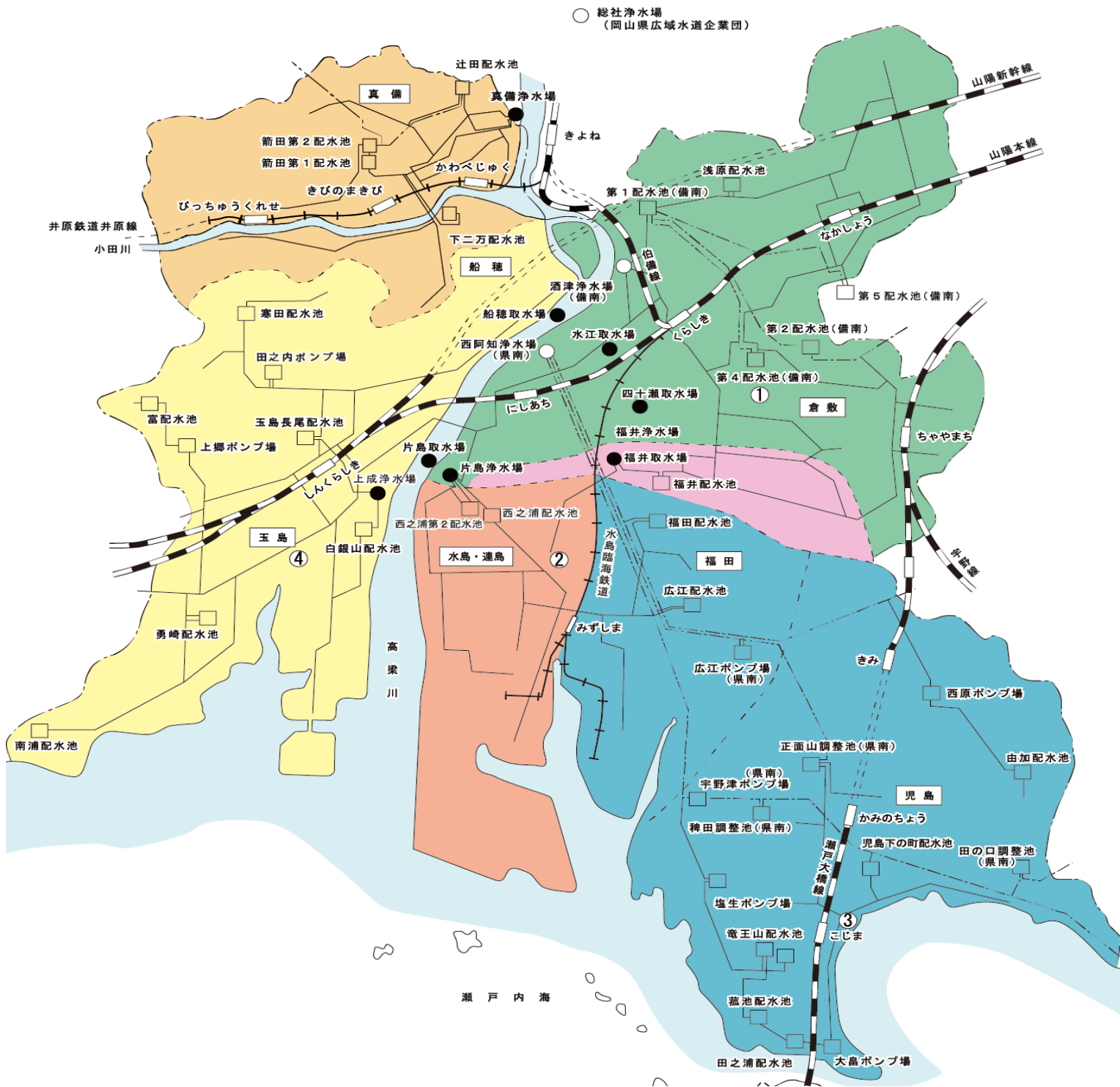
一般行政事務に要する経費が税金によって賄われるのに対し、地方公営企業は、提供する財貨又はサービスの対価である料金収入によって維持されます。（地方公営企業法第17条，地方財政法第6条）

オ 地方公営企業の経営の基本原則

地方公営企業は、常に企業の経済性を発揮するとともに、その本来の目的である公共の福祉を増進するように運営されなければなりません。（地方公営企業法第3条）

(2) 倉敷市水道事業について

ア 給水区域



凡 例

- 浄水場・取水場
- 備南・県南・広域浄水場
- 加圧ポンプ場・配水池
- 水道局送配水管
- - 備南・県南・広域送水管

- 片島系給水区 (水島・連島地区)
- 福井系給水区 (粒江・天城地区)
- 上成系給水区 (玉島・船穂地区)
- 備南系給水区 (倉敷地区)
- 県南系給水区 (福田・児島地区)
- 真備系給水区 (真備地区)
- 海・河川

イ 水道施設の概要

倉敷市の給水区域内は、自己の浄水場や企業団（水道水を作り市町村に供給する市町村に準じた団体）からの受水ごとに給水区を分割して、それぞれの配水池（水道水を溜めておく施設）・配水管（水道水を送る管）を經由してご家庭などに水道水をお届けしています。

① 給水区域と浄水場

給水区名	給水地区	浄水場名	施設能力 ($\text{m}^3/\text{日}$)
片島系給水区	水島・連島地区	片島浄水場	36,000
福井系給水区	粒江・天城地区	福井浄水場	26,000
上成系給水区	玉島・船穂地区	上成浄水場	42,000
真備系給水区	真備地区	真備浄水場 総社浄水場（広域）	9,930
備南系給水区	倉敷地区	酒津浄水場（備南）	86,500
県南系給水区	福田・児島地区	西阿知浄水場（県南）	54,100
計			254,530

広域：岡山県広域水道企業団， 備南：備南水道企業団， 県南：岡山県南部水道企業団

② 浄水処理

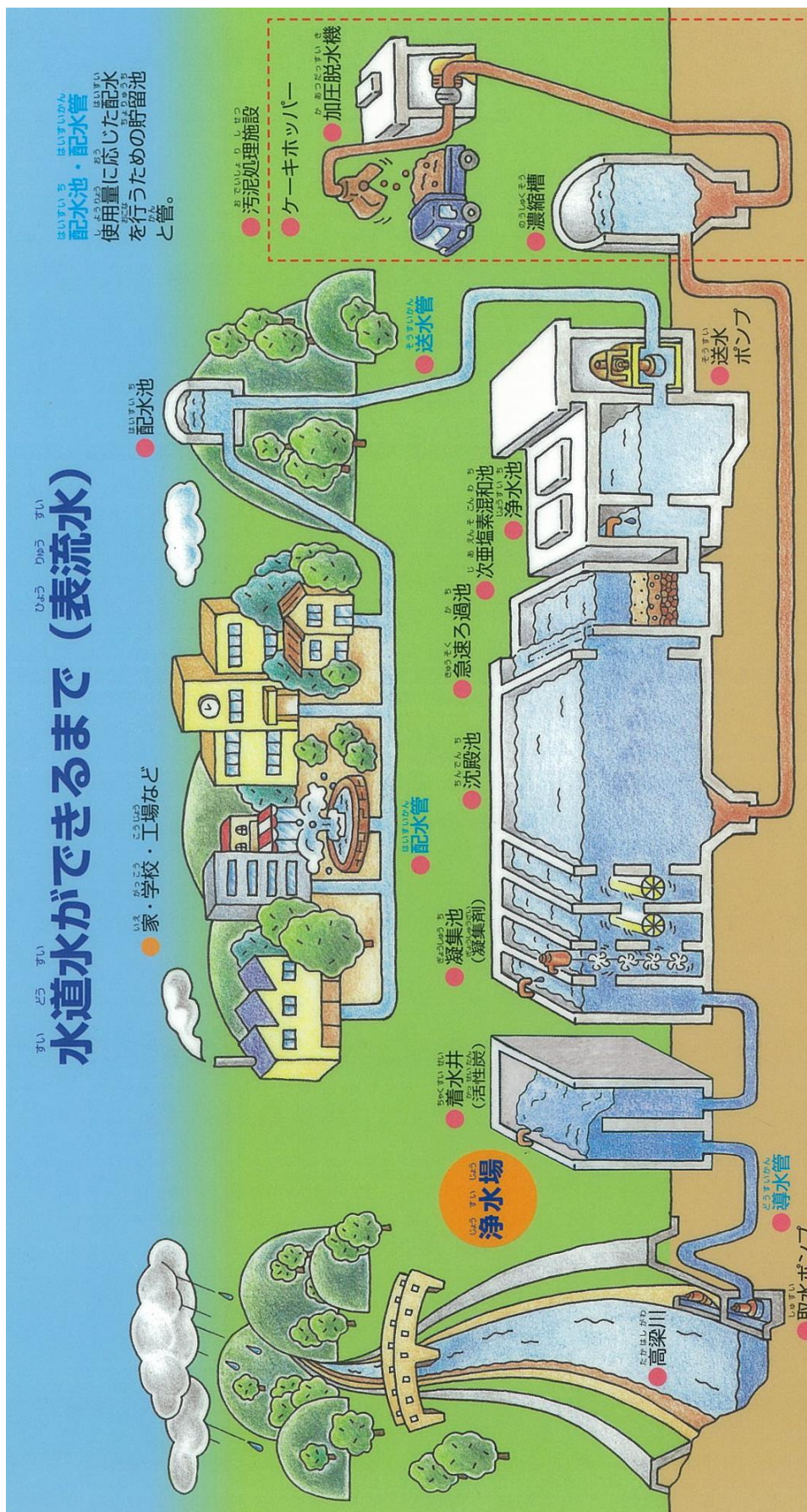
高梁川の表流水を水源とする場合は、細かな砂や濁りを取り除く処理工程を経て、塩素による消毒を行い、飲料に適した「安全でおいしい水道水」をつくり続けています。

また、地下水及び伏流水（河川の地下を流れる地下水）を水源とする場合は、自然に浄化されているので、汚れや濁りは無く、基本的には塩素による消毒だけで水道水になります。

③ 配水池から家庭まで

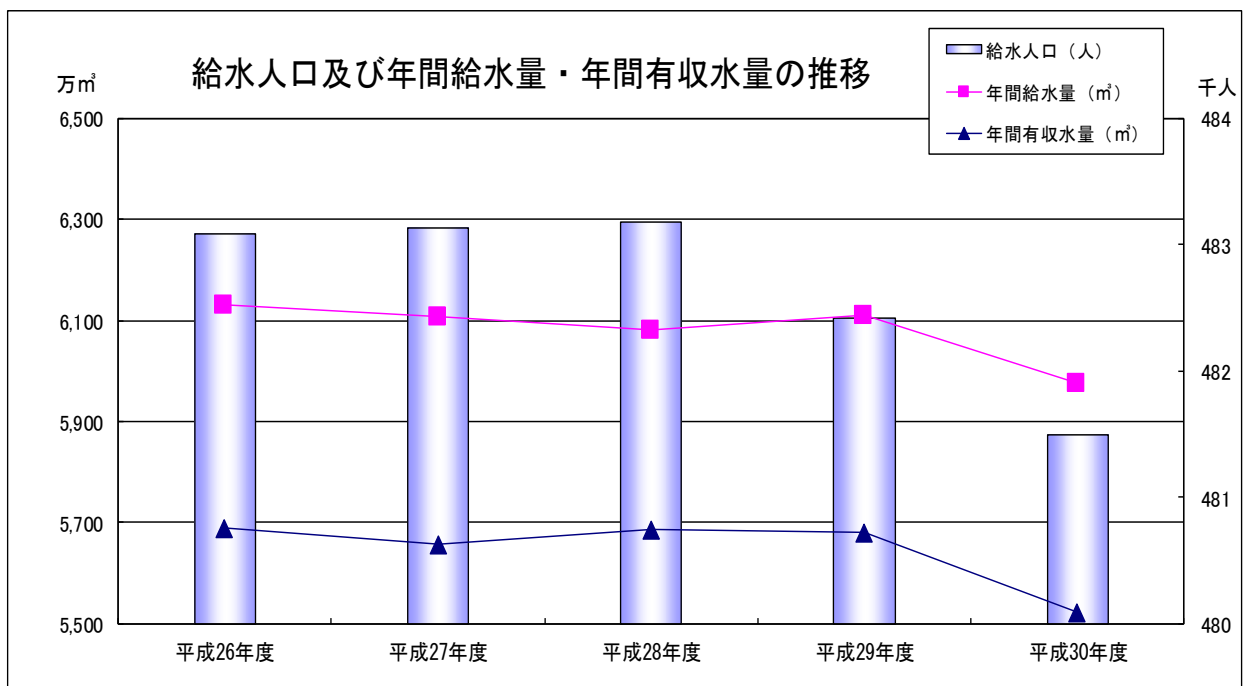
浄水場で処理した清浄な水は、送水管（水道水を送る管）を通過して配水池や高架水槽（地上高くに設置した水道水を溜めておく設備）に送られ、そこから自然流下式で配水管を通過して各家庭などへ送られます。

(参考) 水道水ができるまで (表流水の場合)



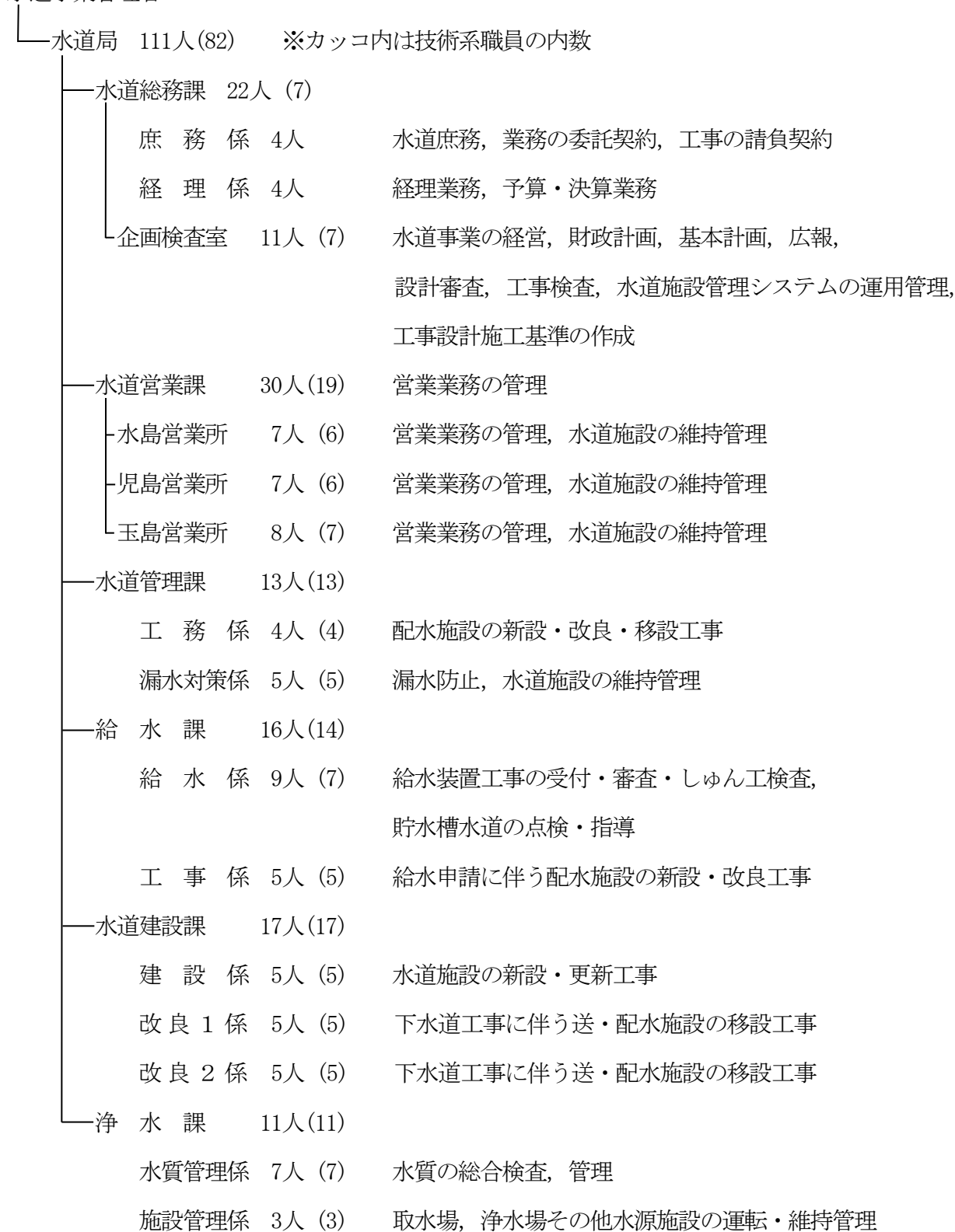
ウ 業務量の推移

項目 \ 年度	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	用語説明
行政区域内人口	人	483,537	483,547	483,576	482,790	481,844	倉敷市に居住している人口
給水戸数	世帯	202,614	204,838	206,916	208,716	210,649	水道により給水を受けている世帯数
給水区域内人口	人	483,537	483,547	483,576	482,790	481,844	給水区域内に居住している人口
給水人口	人	483,091	483,131	483,186	482,420	481,494	給水区域内に居住し、水道により、給水を受けている人口
普及率	%	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	給水区域内で給水を受けている人口割合
年間給水量	m ³	61,326,770	61,077,411	60,817,395	61,102,128	59,762,555	年間の配水施設を通じて供給される水量
年間有収水量	m ³	56,899,959	56,575,531	56,875,008	56,802,945	55,235,507	年間の料金徴収の対象となった水量
有収率	%	92.8	92.6	93.5	93.0	92.4	年間の給水量に対する有収水量の割合
一日最大給水量	m ³	190,978	189,892	184,010	185,081	187,744	年間の1日当たり給水量のうち最大のもの
一日平均給水量	m ³	168,019	166,878	166,623	167,403	163,733	年間の総給水量を1日当たりに換算したもの



エ 倉敷市水道局機構図（平成31年4月1日現在）

水道事業管理者



※ 平成31年4月1日現在 倉敷市全体の職員数3,443名

※ 水道局職員定数130名

2 倉敷市水道事業の財政状況

(1) 水道財政の仕組みについて

水道事業は地方公営企業法および地方財政法に基づいて運営を行っている地方公営企業です。これらの法律では、事業の運営に必要な経費は事業の運営によって得られる収入でまかなうこととされています（独立採算の原則）。

倉敷市水道事業でもこの原則に基づき、設備投資や施設の維持管理などの経費をはじめ、借入金の元利償還金も含め、経営に要する経費は水道料金を充てて事業運営を行っています。

ア 収益的収支と資本的収支

水道事業会計は、収益的収支と資本的収支に分けられます。

(ア) 収益的収支は、水道水をつくり、ご家庭などに送り届けるための費用と収益です。

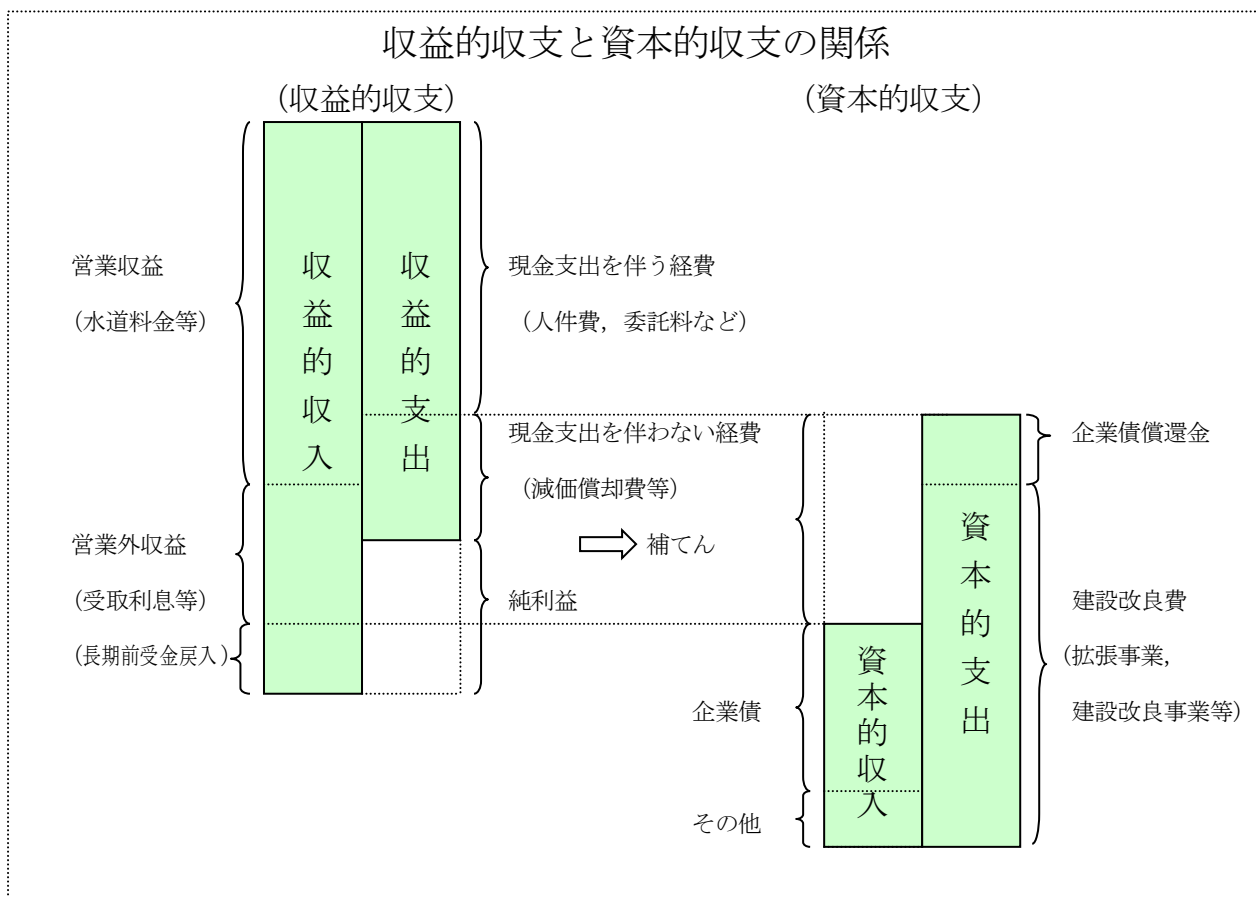
主な収入：給水収益，受託工事収益，負担金，受取利息，長期前受金戻入

主な支出：人件費，受水費，動力費，薬品費，支払利息，減価償却費

(イ) 資本的収支は、水道施設を整備・拡充するための支出と収入です。

主な収入：企業債収入，負担金，補助金

主な支出：建設改良費，企業債償還金



(2) 平成31年度予定業務量について

今年度末における給水戸数は210,790戸を予定しており、平成30年度210,649戸と比較して給水戸数は141戸(0.1%)の増加を見込んでいます。

今年度の年間給水量は60,425,000^m³、年間有収水量は56,053,000^m³を予定しており、平成30年度(年間給水量59,762,555^m³、年間有収水量55,235,507^m³)と比較して年間給水量は662,445^m³(1.1%)、年間有収水量は817,493^m³(1.5%)の増加を見込んでいます。

区 分	単位	平成31年度 (見込み)	平成30年度	比 較 増・△減
給 水 戸 数	戸	210,790	210,649	141
年 間 給 水 量	m ³	60,425,000	59,762,555	662,445
一 日 平 均 給 水 量	m ³	165,548	163,733	1,815
年 間 有 収 水 量	m ³	56,053,000	55,235,507	817,493
一 日 平 均 有 収 水 量	m ³	153,570	151,330	2,240
有 収 率	%	92.76	92.42	0.34

(3) 平成31年度当初予算額

ア 収益的収入及び支出(水道水を作り、ご家庭などに送り届けるための費用と収益)

(ア) 収益的収入 9,585,104千円

(主な内容)

- ・給水収益 7,662,620千円
年間有収水量56,053千m³に対するもの。
- ・長期前受金戻入 1,002,151千円

(イ) 収益的支出 7,585,688千円

(主な内容)

- ・委託料 1,060,849千円
水道料金収納等業務委託料310,803千円、配水管等修繕工事委託料272,232千円、浄水施設運転管理業務委託料90,702千円 など
- ・受水費 1,753,095千円
備南水道企業団732,480千円、岡山県南部水道企業団860,664千円など
- ・減価償却費 2,892,678千円
有形固定資産2,891,267千円、無形固定資産1,411千円

イ 資本的収入及び支出(水道施設を整備・拡充するための支出と収入)

(ア) 資本的収入 1,961,852千円

(主な内容)

- ・企業債 1,304,800千円
建設改良事業に充当する長期借入金
- ・工事負担金 389,004千円
下水道工事に伴う配水管移設工事負担金290,696千円 など

(イ) 資本的支出 6,560,767千円

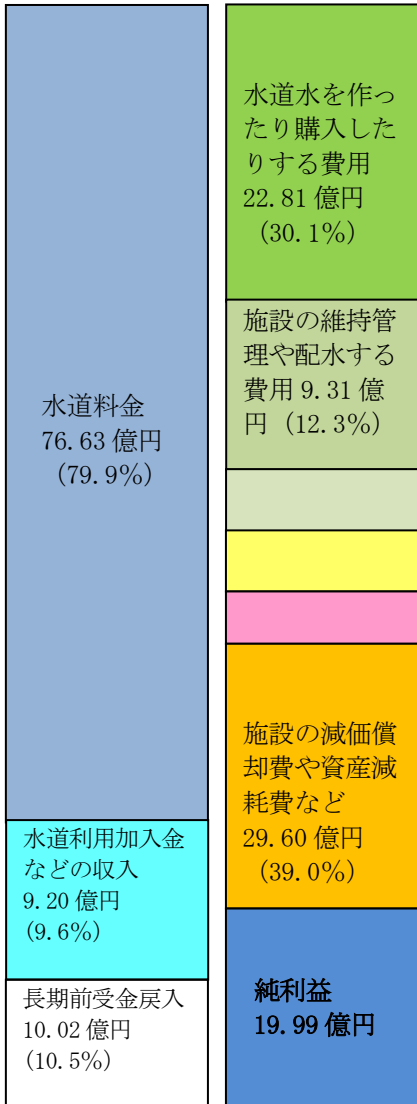
(主な内容)

- ・拡張事業費 736,200千円
配水管新設工事費523,600千円 など
- ・建設改良事業費 4,448,473千円
配水管改良工事費1,811,600千円、配水管移設工事費411,354千円、配水施設工事費477,110千円、浄水施設工事費239,836千円 など
- ・企業債償還金 1,117,519千円
長期借入金返済分

(4) 予算数値の概要

(収益的収支)

収入 95.85億円 支出 75.86億円



メーター検針や料金収納の費用
5.30億円 (7.0%)

事業全般に係る費用
5.86億円 (7.7%)

国などから借りた借入金の利息払い
2.98億円 (3.9%)

(資本的収支)

収入 19.62億円 支出 65.61億円

